

【第三種郵便物認可】

# 日本経済新聞

12月3日  
土曜日

発行所 日本経済新聞社  
東京本社 電話(03)3270-0251  
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7  
大阪本社 電話(06)7639-7111  
名古屋支社 電話(052)243-3311  
西部支社 電話(092)473-3300  
札幌支社 電話(011)281-3211

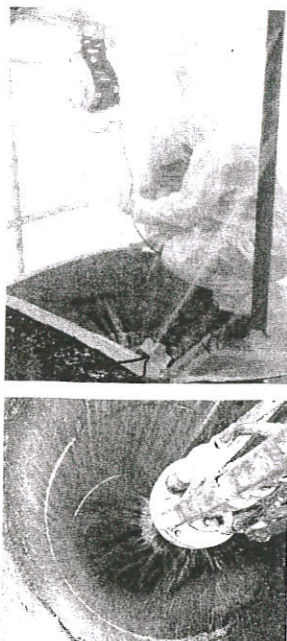
東北

学校の煙突のアスベスト(石綿)を含む断熱材の劣化・損傷が問題となる中、青森市は石綿が飛散する恐れのある市立小中学校11校で、11月までに無害化する工事を終えた。特殊な液剤で石綿を封じ込める仕組みで、工期が短いのが特徴だ。施工業者によると、全国の学校で同様の問題が指摘されているが、青森市は無害化対策で先行しているという。

## 煙突のアスベスト無害化工事

### 青森市、小中11校で完了

防護服を着て煙突上部で作業する工事関係者(写真上)。煙突の内壁に液剤をかけて石綿を封じ込める



### 封じ込め方式で対策先行

が浸透して石綿の形状を変えて封じ込める。同社はこの液剤を福島県田村市で製造している。暖房用ボイラーの煙突に足場を組み、上から装置をつり下げ、内部の壁

が浸透して石綿の形状を変えて封じ込める。同社はこの液剤を福島県田村市で製造している。暖房用ボイラーの煙突に足場を組み、上から装置をつり下げ、内部の壁

▼アスベスト(石綿) 繊維状の天然鉱物で直径は毛髪の約5000分の1と極めて細い。安価で熱や摩擦に強く、断熱材や耐火材としてかつて幅広く使われた。だが、吸い込むと肺に刺さり、中皮腫や肺がんの原因になることが判明。2000年代に入り、製造・輸入・使用が全面禁止になった。

文部科学省は昨年10月、石綿を含む断熱材の使用状況を調査した結果、全体の0.3%の380施設で劣化・損傷が見つかったと発表した。このうち、公立の幼稚園、小中学校、中等教育学校、特別支援学校は計152校にのぼった。このうち青森県は青森市の11校など計14校。全国で島根、群馬、熊本に次いで多い。エコ・24の宮崎恒一専務は「煙突の中は見えないのでまだ手つかずの施設が多い。今後、全国の学校で石綿を含む煙突断熱材が大きな問題になる」と話している。